

第24回教育実践研究発表会プログラム

日 時	令和8年8月5日(水) 9:00~12:15
開催方法	オンライン (Zoom)
受付	8:40~ 9:00 受付 (Zoom ミーティングに参加)
開会式	9:00~ 9:10 学長挨拶、運営説明
発表会	9:20~12:15
閉会式	(分科会ごとに)

○第一分科会 司会：森、田村

- ① 9:20~9:40 <国語> 笹川 礼 (新潟市立内野中学校)
「探究的な学びを促し、言葉への自覚を高める詩創作活動の工夫」
- ② 9:45~10:05 <理科> 鬼木 哲人 (上越市立城西中学校)
「主体的に学習に取り組む態度の育成に向けた自由進度学習を取り入れた授業実践」
- ③ 10:10~10:30 <外国語> 早津 康平 (妙高市立新井小学校)
「外国人観光客との交流活動を通して児童の国際的志向性を育む授業実践」
- ④ 10:35~10:55 <教育方法一般> 小出 晃大 (三条市立飯田小学校)
「教師のフィードバックが児童の主体性とスキルの般化に与える影響についての事例研究
ークラス会議を中核としたカリキュラムマネジメントに注目してー」
《 休憩 10:55~11:05 》
- ⑤ 11:05~11:25 <教育方法一般> 本宮 佑二郎 (新潟市立猿橋小学校)
「児童の動機づけを高める授業改善の試み
ー自己決定理論に基づいた「自分たち授業」の実践を通してー」
- ⑥ 11:30~11:50 <教育方法一般> 野口 裕太 (柏崎市教育委員会)
「教育実習は教員志望学生をどう変えるのかー自己効力感と専門職的視点の変容過程ー」
- ⑦ 11:55~12:15 <学校ヘルスケア> 中村 千穂 (新潟市立曾野木小学校)
「知識・理解を超えた先にある子どもの姿を目指してー自己の在り方・生き方を深めるがん教育の実践ー」

○第二分科会 司会：越村、鈴木

- ① 9:20~9:40 <社会> 仙田 健一 (筑波大学附属中学校)
「高田事件を取り扱った中学校社会科の授業実践に関する一考察
ー地域史を活用した市民的資質の育成に着目してー」
- ② 9:45~10:05 <社会> 清水 正太 (新潟市立巻東中学校)
「地域教材で生徒の問いを生かし、「学びに向かう力・人間性」を育成しようとする社会科授業
ー根根大風合戦を教材にした、資質・能力思考の歴史授業の実践を通してー」
- ③ 10:10~10:30 <算数・数学> 青木 崇 (十日町市立吉田中学校)
「キーワードを用いた、互いの考えを伝え合う力を育成する学習指導
ー中学校図形領域の証明における実践ー」
- ④ 10:35~10:55 <算数・数学> 宮田 大地 (長岡市立小国小学校)
「算数が生活に生かせるという実感を向上させる「速さ」の授業開発研究」
《 休憩 10:55~11:05 》
- ⑤ 11:05~11:25 <特別活動> 今井 雄一郎 (南魚沼市立浦佐小学校)
「ルールづくりやリレーションを深める活動が、学級づくりに与える影響と「真」の親和型学級について
ーWEBQUの結果や児童の自己評価からの検証及び、不登校児童の存在から考えるー」
- ⑥ 11:30~11:50 <特別活動> 清水 和哉 (長岡市立豊田小学校)
「長所・強み」を生かし、どの子どもも運動に親しみ、主体的に取り組む姿を目指した運動会
ー「自己選択・自己決定の機会の確保」と「異学年集団による協働必須型の競技設計」の工夫を通してー」

○第三分科会 司会：小出、渡辺（径）

- ① 9:20～9:40 <社会> 藤田 謙（柏崎市立第一中学校）
「時事問題学習を通じた生徒の主権者意識の変容プロセス
－中学校公民的分野「令和のコメ騒動」を題材とした授業実践の量的・質的分析から－」
 - ② 9:45～10:05 <社会> 棚橋 幸平（上越教育大学附属小学校）
「未来社会を生きる当事者として、よりよい社会の在り方を主体的に思考する児童の育成」
 - ③ 10:10～10:30 <総合的な学習の時間> 名古屋 康秀（新発田市立猿橋小学校）
「行動化から生活の見直しへとつなぐシステム思考的ESD実践の研究」
 - ④ 10:35～10:55 <総合的な学習の時間> 藤井 美香（上越市立大手町小学校）
「外国人に対する差別を自分事して捉え、差別と向き合う児童の育成
－継続した韓国の小学生との交流活動を通して－」
- 《 休憩 10:55～11:05 》
- ⑤ 11:05～11:25 <体育・保健体育> 増村 晋弥（柏崎市立荒浜小学校）
「児童が自分に合ったペースを自己調整しながら取り組む「ペース走」の授業実践」
 - ⑥ 11:30～11:50 <体育・保健体育> 森 智史（胎内市立築地小学校）
「中学年ベースボール型ゲームにおける得点の攻防への意識を高める介入についての検討
－ゲーム中のインターバルに着目して－」

○第四分科会 司会：渡辺（奈）、平間

- ① 9:20～9:40 <生活> 石野 亨（上越教育大学附属幼稚園）
「児童の「見方・考え方」を育み、気付きの質を高めるためのICTを活用した学習活動の工夫
－2年生生活科「やさいのわくわく」の実践を通して－」
 - ② 9:45～10:05 <道徳> 吉田 丈（糸魚川市立西海小学校）
「役割演技と生成AI対話を組み合わせた道徳授業の実践
－児童の価値的葛藤と内省の深化に着目して－」
 - ③ 10:10～10:30 <特別支援教育> 今井 政之（新潟市立桜が丘小学校）
「特別支援学級児童における援助要請スキル教育の効果測定
－「いじめの避難訓練プログラム」を用いた実践－」
 - ④ 10:35～10:55 <特別支援教育> 渡邊 敦（糸魚川市立能生小学校）
「通常の学級における要支援児童への自立活動の視点をもった教科学習の実践」
- 《 休憩 10:55～11:05 》
- ⑤ 11:05～11:25 <特別支援教育> 佐藤 吉将（魚沼市立堀之内小学校）
「多層指導モデルMIMを活用したひらがな読み指導－複数職員による組織的な活用－」
 - ⑥ 11:30～11:50 <特別支援教育> 寺岡 嵩智（長岡市立表町小学校）
「発達障害と愛着の問題を併せ持つ児童の問題行動を低減させる支援方法の検証
－「愛情の器」モデルに基づく愛着修復プログラムの実践を通して－」
 - ⑦ 11:55～12:15 <特別支援教育> 星野 克（柏崎市立柏崎小学校）
「通級指導教室におけるポケモンカードゲームを用いたソーシャルスキルトレーニング実践」

一人20分（発表15分、質疑応答5分）

※ 発表間に5分間の発表者の交代時間をとっています。